
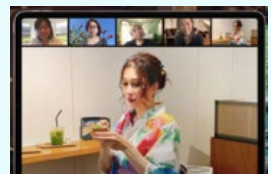
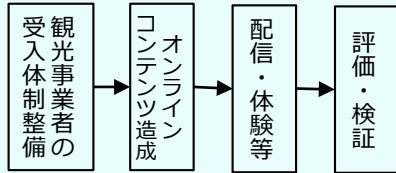


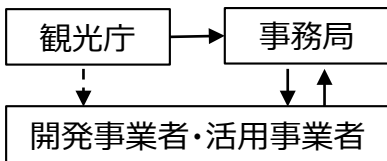
- 消費機会の拡大や消費単価の向上を目指し、これまでの態様に捉われない新たな観光コンテンツ・価値を生み出すのに必要な**デジタル技術を開発**し、**観光サービスの変革**と**新たな観光需要の創出**を実現。
  - オンライン観光の普及によるリアルな観光への期待に対応し、近い将来訪れるSociety5.0時代に向けて**DX(デジタルトランスフォーメーション)※を推進**。
- ※ DXとは、デジタル技術及びデータを活用して、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、組織の文化・風土や業務を変革することにより、競争上の優位性を確立すること。

## 事業イメージ

<b>観光サービス の変革 (開発事業)</b>  公募期間： 令和2年12月25日 ~令和3年2月15日	<b>開発テーマ</b>	<b>観光コンテンツ・観光体験を変革し、新しい価値を創出</b>	<b>事業概要</b>	<b>研究開発課題の抽出・検討</b>
	観光サービスの変革に求められる技術の例 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 利用場所に応じて適用可能な<b>高精度位置認識技術</b></li> <li>➢ <b>顔認証等の生体情報</b>を適切に活用するための技術</li> <li>➢ <b>5G</b>の高速・低遅延といった特性を活用するための技術</li> </ul>	観光サービスの変革による <b>体験価値の向上</b> や <b>観光消費額増加</b> を実現。  自律走行、高精度位置認識技術、XR、指向性音声等に関する技術開発により、 <b>パーソナル空間を確保しながらの快適な鑑賞環境</b> を実現。  マスク等着用時でも利用可能な <b>顔認証等の生体認証</b> と <b>セキュアな決済技術</b> とを融合させることにより、ビーチ・山岳エリアでの手ぶら観光・手ぶら購買を実現。 地域の観光体験の価格等を <b>リアルタイムに最適化する技術開発</b> により、混雑平準化や収益向上を実現。	デジタル技術を開発し、DX推進による <b>新たな地域観光モデル※</b> を構築。  技術開発 → 実証実験 → 評価・検証 → モデル構築 (地域観光) <small>※「地域の文化・芸術・自然等の既存の観光資源」(場所)を磨き上げる、エリア一体において便利・快適な「観光体験」(コト)を可能とするなどして、新たな観光サービスやその価値を創出し、もって、観光サービスの変革による体験価値の向上や観光消費額増加を実現させるモデル。</small>	
<b>観光需要 の創出 (活用事業)</b>  公募期間： 令和3年1月下旬 ~3月上旬(予定)	<b>事業テーマ</b>	<b>オンラインを活用した来訪意欲の増進</b>	<b>事業概要</b>	<b>研究開発課題の抽出・検討</b>
	コミュニケーションを取ることが可能なインタラクティブな既存のオンライン技術と、観光資源とを融合し、 <b>観光需要や消費意欲を創出</b> 。	観光客・事業者がコミュニケーションを取り合えるプラットフォームを構築し、 <b>オンライン空間上でのツアーを通じて観光地の情報収集や消費の機会</b> 等を提供。 	観光資源の高付加価値化、観光関連事業者の受入の環境・体制等を整備。  観光事業者の受入体制整備 → オンラインコンテンツ作成 → 配信・体験等 → 評価・検証	

**体験価値の向上と  
観光消費額の増加に寄与。**

## 事業スキーム



- 開発事業者・活用事業者として、イノベーション・変革を起こすことが可能な先端企業・大学、地方公共団体・DMO等からなるコンソーシアム・企業等を募集。
- 事務局と開発事業者・活用事業者との間で、密なコミュニケーションを取りながら事業を遂行する想定。